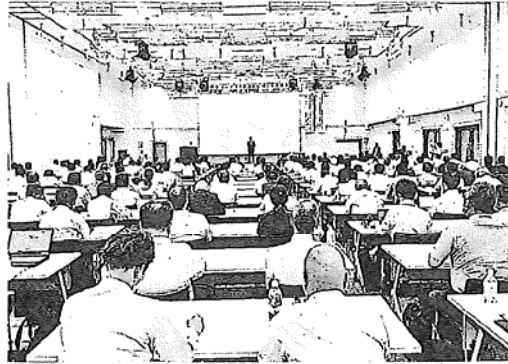


コンプライアンス意識向上へ 建コン九州ら5団体が研修会



建設コンサルタンツ協会九州支部、福岡県測量設計コンサルタンツ協会、福岡県地質調査業協会、日本補償コンサルタンツ協会九州支部、全国上下水道コンサルタンツ協会九州支部の5団体は11日、令和6年度コンプ

ライアンスに関する会員研修会を福岡市博多区の福岡県中小企業振興センターで開いた。写真。会員企業などから約230人が参加した。研修会では、公正取引委員会事務総局九州事務所

の柏木智宏下請課長が「下請法について、親事業者として遵守すべきこと」、弁護士法人いかり法律事務所の高松賢介弁護士が「実効的な独占禁止法コンプライアンスプログラムの整備・運用について」をテーマにそれぞれ講演。個々の企業に求められるコンプライアンスを主題とする研修に、参加者は真剣な表情で聴講していた。

あいさつした日本補償コンサルタンツ協会九州支部の白石陽一支部長は「業界が遵守すべきルールがより厳格化されている中、コンプライアンス意識の重要性も高まっている。研修会を通じ、重要な情報を共有してよりよい職場環境の形成に役立ててほしい」と話した。